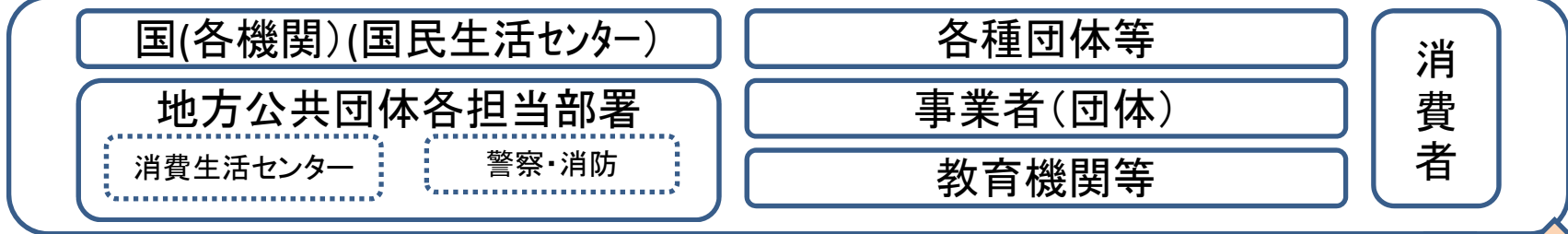


情報提供の見取り図

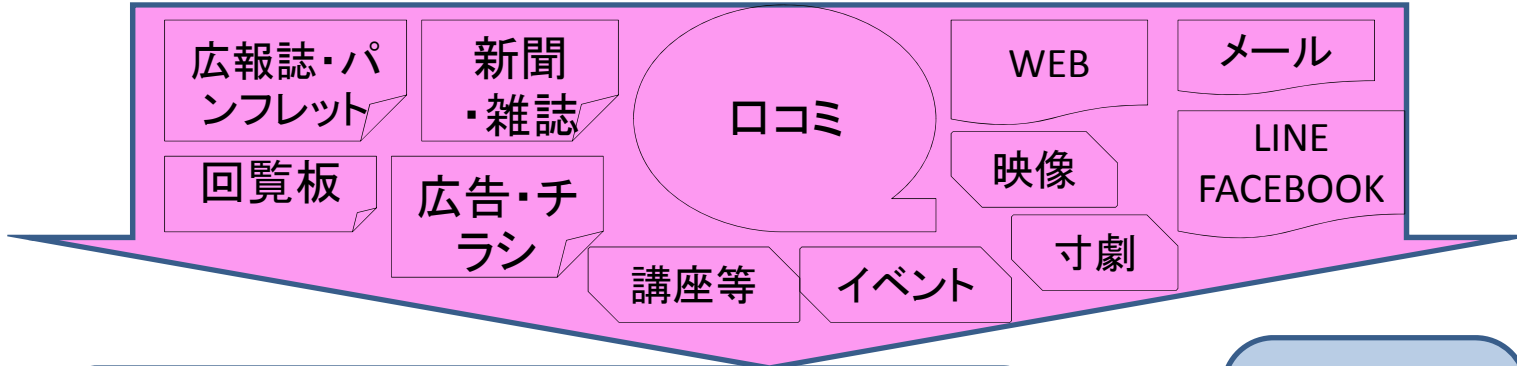
情報伝達、実践 →
教育・啓発情報 →

資料2
座長提出

情報の発信

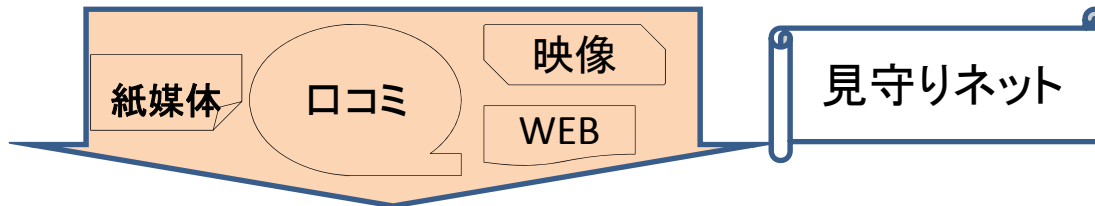


発信手段



情報伝達の実践の場

学校・消費生活センター・地域コミュニティ・多様な主体からなるネットワーク 等



プロジェクト

直接の情報提供
消費者からの発信

情報の受け手

消費者一人一人
消費者の特性(年齢・性別・障害の有無、消費生活に関する知識の量、就業の状態、居住形態・時間的余裕の有無、情報通信機器の利用可能の状況など)に応じた多様な情報伝達手段。
☆当小委員会での検討対象は、特に配慮の必要な高齢者・障害者